

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 151	提案機関名 畜産課 畜産環境グループ
要望問題名 畜産経営への熱利活用技術導入に向けた検討	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 再生可能エネルギーの利用拡大が求められるなか、畜産経営においても太陽光発電を始めとして様々な再生可能エネルギーの導入が進められている。 そのなかで熱エネルギーはまだ発展途上のエネルギーであり畜産農家への導入事例も少ないものの、堆肥化の際に発生する発酵廃熱などを有効活用することで畜産環境保全と再生可能エネルギーの利用拡大を両立する事が可能であり、研究の進展が望まれる分野である。 そこで、堆肥化発酵廃熱や地中熱等、熱エネルギーの畜産経営内での有効活用に向けた検討を願う。	
解決希望年限	1年以内 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> 畜産技術所 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター 畜産技術所	担当部所	企画研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 熱回収及び有効活用技術の開発			
対応の内容等 当所では、太陽光及び風力により得られた電力を家畜ふん尿処理に活用する研究を進めております。またご指摘のように太陽光や風力以外の再生可能エネルギーとして熱エネルギーの活用も必要な課題と考えております。特に畜産経営の場合、畜舎の暖房や温水の利用以外にも、家畜ふん堆肥化処理時に発酵熱が60℃以上となり大量の熱が発生しています。また最近では高効率な熱交換機の開発も進んでいることから、堆肥化発酵廃熱や地中熱等、熱エネルギーの畜産経営内での有効活用に向けた検討を実施したいと考えています。			
解決予定年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			